



や・ま・ぐ・に 2025



新年のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。
昨年は施設開設35周年の記念イベントを開催することができ、保護者の方々や関わって下さっている方々と今日までの日々を振り返る良い機会を戴けた年でもありました。

新年を迎えた地にしっかりと足をつけて、この一年頑張っていかねばならないと思いながら、
ヘビに足はついてなかつたなど苦笑いしているマヌケな自分がいます。（笑）

さて、京北やまぐにの郷の一年ですが、昨年から始めている『よかクラブ』で作業だけにとらわれない取り組みがあります。利用者さんにとってハリのある楽しいひと時を過ごしてもらえるようスタッフが工夫してくれています。このような“お楽しみ”の時間や“ハレ”的日を増やせる年でありたいと考えています。施設の生活では共感できる関わりに努め、日中活動では共に汗をかき、『よかクラブ』では共に歓喜する、そんな毎日を過ごしていきたいですね。

今後は入所施設の在り方検討も進む中、京北やまぐにの郷も地域に貢献できることを模索し、地域との連携を深められるよう、気持ちも新たに邁進していこうと思っています。

結びにあたり、皆様にとりまして、健やかで記憶に残る思い出深い已年となりますよう心からご祈念申し上げます。

廣幡 顕一

～かけがえのない人生のために～

共感

共汗

共歓



この支援の柱は、施設開設以来最も大切にしているものです。利用者・職員さらに地域住民が共に感じて、共に汗して協力して取り組んだ先に、共に歓びを享受することを柱としています。



「自閉スペクトラム症」って？？？（第3回）

大人のASD（自閉スペクトラム症）とは？

子どものころは気にならなかったのに、大人になってから仕事や対人関係の場面で辛い思いを経験することが多いといわれており、そのことで二次障害としてうつ病などを発症するリスクもあります。

そのため、辛さを軽減させるためにも病院を受診するなどして自身の特性の把握と対策を行っていくことが大切です。

大人のASD（自閉スペクトラム症）セルフチェックの方法

ASD（自閉スペクトラム症）には紹介してきたように、様々な特徴があります。生活や仕事で困ることが多く、「ASDかもしれない」と感じるときは次にあげる特徴にどのくらい当てはまるかチェックしてみてください。

- ・言葉の裏を読むことが苦手
- ・ジェスチャーの意図がよくわからない「もう少し」などと言われると困ってしまう
- ・複数人でいるときに場の空気を読むことが苦手
- ・対象によって興味のあるなしが激しい
- ・好きなことには何時間でも熱中することがある
- ・好きなことを一方的に話してしまう
- ・行き帰りの道順や仕事の手順に強くこだわる
- ・急に変更があると動搖してしまう
- ・初めて行うことに対する不安が強い
- ・目に映るものや聞こえる音に過剰に反応する
- ・特定の匂いや肌触りのものが苦手



このような特徴に多く当てはまっている場合は、ASDの傾向があるかもしれません。ただ、セルフチェックでいくつ当てはまても、それだけでASDだと確定するわけではありません。ASDの診断を行えるのは医師だけです。仕事や日常生活全般に困りごとが多く、セルフチェックを通して傾向があると感じたときは、対策を立てるために医師による診断を受けることを検討してみてください。

編集後記



2024年は京北やまぐにの郷設立35周年記念のつどいを開催し、多くの来賓の皆様とご家族の皆様ともにお祝いできましたことを改めて感謝を申し上げます。

施設設立当初とは障がい者の取り巻く環境は大きく変化しましたが、地域、社会で当たり前に暮らすことができるよう私たちは未来に向かって挑戦を続け皆様とともに歩み続けていきます。引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今年の干支は「乙・巳（きのと・み）」乙巳には、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった意味合いを持つといわれています。と同時に「辛抱強さが試される」ともいわれています。焦らず粘り強く取り組む姿勢を大事にした年にしたいと思います。

本年も何卒よろしくお願い致します。

平林 啓邦



発行：社会福祉法人 京都杉の木会 京北やまぐにの郷

〒601-0314 京都市右京区京北大野町菖蒲ヶ丘10-2

TEL 075-853-0571

fax 075-853-0372



35周年記念の集いを終えて

10月22日(火)【京北やまぐにの郷 設立35周年記念の集い】を開催しました。

法人、施設職員にとって周年事業の開催ははじめてのことでしたが、職員皆の心のこもった集いにと試行錯誤しながら準備を進めました。

京北やまぐにの郷は、この京北の地で35年の間お世話になってきましたので、地域への感謝の意味も込め-あうる京北-（京都府ゼミナールハウス）での開催としました。

自家用車でお越しになれない方には、二条駅まであうる京北のマイクロバスで送迎していただけたので、大変ありがとうございました。

催しては、今まで支えて頂いた保護者の皆様、役員方関係者をお招きし、

これまでの感謝をお伝えすることが叶いました。

我々職員としても、ご講演やご歓談にてお話を頂いた皆様の思いを大切にして、今後もご期待に応えるべくより良い支援を提供して参りたいと鼓舞しております。

当日はお忙しい中、ご参集ください本当にありがとうございました。

35周年実行委員会メンバー一同

記念写真



講演会の様子



法人創立以前「自閉症者の施設を造る会」結成当時から活動され、設立後からは法人理事・理事長を務められた井上先生より、懐かしくそして力強くその活動・歴史についてのご講演をいただきました。

当日受付やご案内で奮闘していただいたキレイどころ+1名。笑顔も素敵に普段の支援姿からは見違えるほど
♡♡♡ お疲れさまでした！



【社会福祉法人 京都杉の木会 沿革】

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| 1983年(昭和58年) | 「京都自閉症者の施設を造る会」が結成、施設づくりの活動を始める |
| 1988年(昭和63年) | 「社会福祉法人京都杉の木会」の創立について京都府知事認可 |
| 1989年(平成元年) | 「京北やまぐにの郷」の開所 |
| 1997年(平成9年) | 地域交流ホームの竣工 |
| 1999年(平成11年) | 通所部開設(現生活介護事業所) |
| 2013年(平成25年) | 障害者総合支援法施行 |
| 2015年(平成27年) | 計画相談支援事業開設 |

食事歓談風景



食事をしながら楽しく懐かしく歓談され、お一人おひとりより思いの丈とはいかないまでもご発声いただき、感極まって涙される場面もありました。
(ここだけの話…あうる京北のお料理も絶品で、聞くの食べるの喋るので大忙しでした。)

記念植樹



35周年記念として、常緑ヤマボウシを植樹しました。春には薄ピンクの花、秋には赤い実が私たちの生活に彩りを与えてくれることでしょう。